

## 壁面

伝統的建物

### 基準

オリジナルの壁面ライン・意匠への復元を心がけ、それぞれの時代の様式を保全する。やむを得ない場合には伝統的まちなみに配慮したものとする。

この地区では、様々な様式の伝統的建物が建ち並んでいますが、その多くは、建物の壁が前庭を介さず道路に直接面しています<sup>※</sup>。また、1階部分に袖壁がついていることも大きな特徴であり、これらが連続し心地よいリズムが形成されています。

伝統的な壁面の外観は、1階部分は漆喰塗りに腰板、2階部分は白か黒の漆喰塗りに、タイル張り、銅板張りなど様々な仕上げがされており、まちなみに豊かな表情を演出しています。

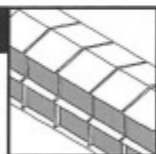
※町家の住まい方の特徴です。



伝統的な仕上げによって、建物そのものの表情を豊かにするとともに、まちなみに落ち着きと暖かさを与えます。



ほぼ揃った壁面がまちなみの連続感を生み出す基本となっています。



## 開口部

伝統的建物

### 基準

オリジナルの形状・意匠を尊重する。1階部分については、伝統的な建具を尊重する。2階部分については、できる限り伝統的な建具を用いる。やむを得ずアルミサッシを用いる場合は、出格子や虫籠窓などの内側に入れたり、まちなみに調和する色調・意匠とする。

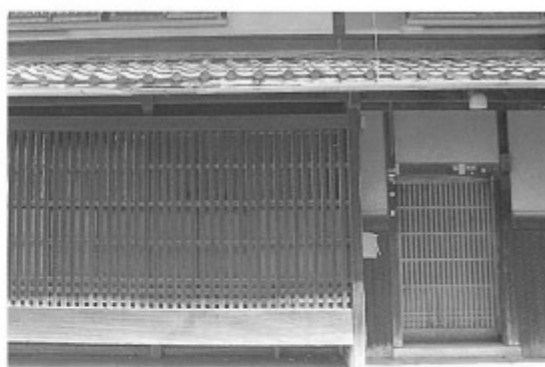
スチールシャッターなどの使用は避ける。

1階部分の格子や出格子と玄関の大戸や格子戸、2階部分の虫籠窓や格子付き窓など、伝統的な意匠が施されており、まちなみに暖かさや柔らかさを与えています。また、様々なデザインが工夫されており、建物に陰影のある表情を作り出しています。

格子の美しさは将来に受けつぎたいもののひとつです



虫籠窓(むしこまど)のシャープなデザインが、外観にアクセントをつけています。



## 軒下

伝統的建物

### 基準

伝統的な床仕上(叩きや石敷)とする。軒下のしつらい<sup>※</sup>についてはオリジナルの形状・意匠を尊重する。

伝統的建物は庇の出が深く比較的ゆったりとした空間が形成されています。軒下の床仕上げは叩きや石敷、また駒寄や矢来を設けたものも見られます。

こうした豊かな空間に伝統的意匠が施されていることもまちなみ景観を構成する大きな要素です。

※軒下のしつらい：軒下にみられる意匠のことで、格子状の駒寄や矢来などがあります。



建物の内と外をつなぐ軒下空間はまちなみの特徴づける大切な場所です



## 塀・門

伝統的建物

### 基準

庭付戸建<sup>※</sup>の塀・門については、当初の形態への復元を原則とする。

庭付戸建の塀や門は、和瓦葺き、漆喰塗、腰板などによる伝統的意匠となっており、美しく連続感のあるまちなみ景観を構成する重要な要素となっています。

※庭付戸建：平野にみられる伝統的様式のひとつ。主屋が道路に面しておらず、高塀で前庭を囲っているものです。



伝統的な塀や門によって、まちなみの連続性が保たれるとともに、柔らかさと暖かさを与えます。

祭りちょうちんが似合うまちなみ